

総 括 表

基本方針・ 重点方針	24年度重点取組			23年度重点取組	
	取組名	目標	所属等	取組名	実績
(1)「下京区 基本計画 (2011～2020 年度)」を指 針とし、区民 の皆様と力 を合わせて 下京区のま ちづくりを 推進してい きます	①「区民まちづ くり会議(仮称)」 の設置	<p>京都モデルの「参加と協働による区のまちづくり」を更に進めるため、これまでの下京区基本計画推進会議を発展的に解消し、まちづくりのテーマ等に関して区民の皆様と一緒に考えて、「区民まちづくり会議(仮称)」を設置する。</p> <p>区基本計画に掲げる区のビジョンの実現に向けて、区民の皆様が自発的、自主的に企画、運営する事業を提案できるよう支援する。</p>	地域力推進室	—	—
	②区基本計画に 「まずやること」 として掲げた 「下京歩歩(ぼ っぼ)塾」など の推進	<p>「下京歩歩(ぼっぼ)塾」及び「いざという時のための安心安全の情報共有」は、23年度の実績を踏まえ、事業の充実・拡大を図っていく。</p> <p>「安心で環境にやさしい夜間門灯点灯運動」、「歩いて知る、下京の魅力再発見」、「花と緑の下京回廊づくり」は、新設の下京区「区民が主役の</p>	地域力推進室 福祉部 保健部	「まずやること」 の推進	—

	<p>○ 「下京歩歩（ぽっぽ）塾」の実施</p> <p>○ 「いざという時のための安心安全の情報共有」事業の推進</p>	<p>まちづくり」サポート事業において、区民の皆様の創造的かつ主体的な取組を支援することにより推進する。</p> <p>23年度のモニター事業の成果を踏まえ、参加者により満足していただける内容にすることで、塾生を増やしていく。</p> <p>23年度に試行した“下京区モデル”を各学区に提示し、学区での取組の普及を促進する。併せて、要援護者情報や支援体制状況等の視認や分析を容易にし、避難支援体制づくりに効果がある、マップ作成ソフトを搭載したパソコンを学区に貸し出すとともに、当該ソフトの操作指導等を行う。</p>		<p>○ 「下京歩歩（ぽっぽ）塾」</p> <p>○ 「いざという時のための安心安全の情報共有」</p>	<p>毎月第1水曜日、木曜日にIT歩数計の集計を行うとともに、健康情報などを記載したニューズレターを塾生に配布している。</p> <p>H23.11.8 稚松連合会を開催 同意方式による要援護者情報の集約、管理・共有方法を定めた「稚松学区災害時要援護者支援実施要綱」や支援カードの書式等を決定。</p> <p>H23.11.11～H23.12.31 支援カード等の配布・回収（回収枚数282世帯）</p> <p>H23.12.2～ 同志社大学社会学部立木研究室でのデータ入力及びマップ化の取組と分析</p>
	<p>③ 「学区カルテ」を活用した各学区の状況把握と情報の提供、共有</p>	<p>学区カルテを活用した分析と情報等の提供により地域活動を支援し、地域力の向上を図る。</p>	<p>地域力推進室 福祉部 保健部</p>	<p>—</p>	<p>—</p>

	④地域福祉活動との連携	下京区社会福祉協議会が24年度中に下京区地域福祉活動計画を策定するに当たり、同協議会と連携し、下京区基本計画との整合性を図りつつ、同計画の策定を支援する。	地域力推進室 福祉部	—	—
(2) 行政の基本である「適正、公平、迅速な行政事務の執行」と「行政の情報管理の適正な管理」を確実にします	①適正な事務処理の徹底	適正な事務処理に係る研修に積極的に参加することで、応対力の向上に努める。	各課共通	①適正な事務処理の遂行	適正な事務処理に係る研修に積極的に参加するよう促し、適切な対応ができるよう心掛けている。
	②行政情報の適正管理の徹底	個人情報の記載されている台帳等について、施錠できるロッカー等で保管するなど、適正に管理する。	各課共通	②行政情報の適正管理の徹底	台帳等個人情報が記載されている帳票類等については、施錠できるロッカー等で保管している。
	③適正な公金管理の徹底	生活保護費等の現金、切手・バス回数券等の金券を適正に管理する。	各課共通	—	—

	④省エネのための効率的な業務の推進	省エネ・節電について、区民の協力・理解を得ながら、区民サービスを維持しつつ、効率的な事務執行に努め、省エネ・節電に取り組む。	各課共通	—	—
(3)京都市防災対策総点検委員会の報告を踏まえ、区民の皆様と協力して、地域の防災力を更に高めます	①自主防災会をはじめとした地元関係団体との連携による、「避難所運営マニュアル」, 「初期初動マニュアル」の作成	・学区ごとに「避難所運営マニュアル」を策定 ・区役所職員による「初期初動マニュアル」を作成	地域力推進室	—	—
	②より実効性のある「区防災訓練」の実施（内容の充実）	・「下京区ふれ愛ひろば」において、防災啓発の実施 ・区防災訓練の内容の充実	地域力推進室	「区防災訓練」（「下京区ふれ愛ひろば」との共催）の内容の充実	・「下京区ふれ愛ひろば」と「区防災訓練」の同日（11/13）開催 ・区内東西2ブロックにおいて実施（10/30, 11/20）
	③全職員の情報共有による、あらゆる場面を想定した防災シミュレーションの実施	経営会議（下京区役所課長会）等において定期的に防災シミュレーションを実施し、職員の防災意識を更に高める。	地域力推進室	経営会議（下京区役所課長会）における防災シミュレーションの取組	概ね月1回実施

	④防災研修の充実（日頃から防災への意識喚起を図るため全職員を対象にした研修の充実）	日頃から防災への意識喚起を図るため全職員を対象にした研修の充実	地域力推進室	—	—
	⑤区基本計画に「まずやること」として掲げた「いざという時のための安心安全の情報共有」事業の推進	—	地域力推進室 福祉部 保健部	—	—
(4) 区民の皆様との協働により、地域が持つ底力を引き出すとともに、新たな芽を育てる「土壌づくり」を推進します	①「区民提案型まちづくり支援制度」の創設	区民の皆様のまちづくり活動を、区役所がしっかり支えていく仕組みとして、新たに下京区「区民が主役のまちづくり」サポート事業を創設する。	地域力推進室	—	—
	②新たなまちづくり活動への支援（下京西部エリア、下京東部エリアなど）	自分たちのまちを、その特色を活かしながら、愛着をもって暮らしやすく、元気にする地域の主体的な活動等に対して、情報提供や助言等の支援を行う。	地域力推進室	—	—

	③地域力アップ 応援事業（自治会加入促進）の創設	マンション等の住民や事業者の方々に対して、地域とのつながりの大切さを発信し、入りたくなる自治会づくりへの主体的な取組を応援するとともに、PTAなどの地域の様々な関係機関との連携を強化して、自治会加入の促進を図る。	地域力推進室	—	—
	④区民ふれあい事業の実施	健康づくりや地域の魅力の発見、人権の大切さを考える講座等の実施や、区民の皆様が楽しく集いふれあえるイベント等の開催を通して、下京の「絆」を強くする。	地域力推進室	—	—
	⑤「下京・町衆倶楽部」の推進	<p>「下京・町衆倶楽部」は、下京区のまちをより暮らしやすく、魅力的なものにしていくために、多くの区民の皆様が参画し、自主的・主体的にまちづくりについて考え、実行していく組織である。</p> <p>この「下京・町衆倶楽部」の実践を通して生み出されたネットワークと既存のまちづくり活動との有機的連動を図り、新たなコミュニティの形が創造されることを目指す。</p>	地域力推進室	「下京・町衆倶楽部」の設立	下京のまちづくりを多くの幅広い方々で担い、持続的に推進していきける組織を立ち上げる。

⑥「学区カルテ」を活用した各学区の状況把握と情報の提供，共有【再掲】	学区カルテを活用した分析と情報等の提供により地域活動を支援し，地域力の向上を図る。	地域力推進室 福祉部 保健部	—	—
⑦志縁団体の発掘と支援	—	地域力推進室	—	—
⑧各学区における極め細やかな防災訓練の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・住民が参加しやすい（参加できる）訓練の実施 ・リーダーの育成を見据えた「避難所運営訓練」の実施 ・下京区自主防災会長連絡会との連携 ・「避難所運営マニュアル」の作成 	地域力推進室	各学区における極め細やかな防災訓練の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・区内2学区において「避難所運営訓練」を実施（10/30，11/20） ・「区災害ボランティアセンター運営マニュアル」を作成（12/28） ・下京区自主防災会長連絡会の結成（3/18）
⑨健康づくりと各種地域関連団体との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・京都下京・南医療連携協議会と連携して，健康づくり情報を発信する。 ・健康づくりボランティア「メタボやっつけ隊しもけんズ」とともに，運動の環境づくりを行う。 ・（財）京都市緑化協会と協働で梅小路公園青空健康づくりプログラムに取り組む。 	健康づくり推進課	健康づくりと各種地域関連団体との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・「下京区ふれ愛ひろば」や「みなみ・下京健康まつり」の実行委員会と連携して，健康づくり情報を発信した。 ・健康づくりボランティア「メタボやっつけ隊しもけんズ」が健康まつりやふれ愛ひろば等でメタボボックスを行い，普及啓発に取り組んだ。毎週金曜日午前10時半から梅小路公園の野外ステージでメタボボックスや筋力トレーニングを行い，区民の皆様に運動の場を提供している。

	<p>⑩感染予防と健康危機管理</p>	<p>市民しんぶんや保健センターニュースで、結核予防や食中毒予防など、保健衛生と公衆衛生に関する情報を、区民の皆様におわかりやすく提供する。</p>	<p>保健部</p>	<p>感染予防と健康危機管理</p>	<p>(健康づくり推進課) ・結核やインフルエンザ予防等のポスター掲示 ・乳幼児健診で「感染症予防のための手洗い」と「感染性胃腸炎(ノロ)予防」の啓発パンフレットを配布中。 ・保健センターニュースで結核予防の啓発 (衛生課) 市民しんぶんや保健センターニュースを通じて、その時々タイムリーな情報(たとえばネズミ駆除方法、ノロウイルスによる食中毒)を提供した。また、両親教室を利用して、肉の生食の危険性をお知らせし、食の安全安心に努めた。</p>
<p>(5) 区内の隅々にまでアンテナを張り情報収集に努めるとともに、各課がしっかりと連携し、前例にとらわれることなく、区民の皆様 の立場に立った施策を考え、実行します</p>	<p>①区基本計画に「まずやること」として掲げた「下京歩歩(ぼっぼ)塾」などの推進 【再掲】</p>	<p>「下京歩歩(ぼっぼ)塾」及び「いざという時のための安心安全の情報共有」は、23年度の実績を踏まえ、事業の充実・拡大を図っていく。 「安心して環境にやさしい夜間門灯点灯運動」、「歩いて知る、下京の魅力再発見」、「花と緑の下京回廊づくり」は、新設の下京区「区民が主役のまちづくり」サポート事業において、区民の皆様の創造的かつ主体的な取組を支援することにより推進する。</p>	<p>地域力推進室 福祉部 保健部</p>	<p>「まずやること」の推進</p>	<p>—</p>

	②子ども家庭支援ネットワークの充実・強化	下京たんぼっぼ広場の開催や孤立化しやすい子育て家庭を定期的に訪問する「すくすく訪問プロジェクト（仮称）」など、子ども家庭支援ネットワーク協議会等子育てを支援する関係機関が実施する事業を充実させ連携を強化する	支援課 健康づくり 推進課	—	—
	③権利擁護等高齢者福祉ネットワークの充実・強化	権利擁護ネットワーク（仮称）の設立等、地域包括支援センターを核とした高齢者福祉ネットワークの連携強化	支援課 健康づくり 推進課	—	—
(6) 区民の皆様が健康で安心して暮らせるよう、保健福祉のネットワーク・つながりを充実させます	①ホームレスに対する支援の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・安定した居宅生活移行支援を行う拠点としての機能を強化する。居宅生活移行後の訪問支援、関係機関等との連絡調整を積極的に行う。 ・業務水準の向上・平準化を図るため、業務マニュアル作成を進める。 	保護課	ホームレスに対する支援の実施	地域社会の一員として安定した居宅生活が維持できるよう、生活保護等の諸施策を活用し、NPOとも連携して支援した。
	②こんにちはプレママ事業	—	健康づくり 推進課	こんにちはプレママ事業	母子手帳交付556件の全数面接を達成できた。7月からは妊娠期からの家庭訪問を開始しており、初妊婦へは45件の訪問を行ったが、今後訪問対象者が増加していくのに合わせ、母子手帳交付全数面接とともに、継続支援が必要な家庭を早期に把握し、引き続き妊娠期から出産・育児期までの切れ目のない支援を行うことにより、乳幼児の健やかな成長発達を促す。

	③こんにちは赤ちゃん事業・育児支援家庭訪問事業	<ul style="list-style-type: none"> ・生後4箇月までの乳児のいる家庭を訪問し、子育ての孤立化を防ぐとともに、子どもの健やかな成長発達を促す。 ・また支援の必要な家庭に対しては、育児不安の解消や虐待予防の観点からも継続した訪問を実施する。 	健康づくり推進課	こんにちは赤ちゃん事業・育児支援家庭訪問事業	こんにちは赤ちゃん訪問では、現時点での訪問実績は449件（訪問実施率93.8%）で昨年度の実績を上回っている。今後もこんにちは赤ちゃん訪問を100%を目標に実施して行く。育児支援家庭訪問事業では、継続的な支援の必要な世帯への訪問件数は現在166件に上る。
	④こころのふれあいネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と関係団体が一体となったネットワークで、精神障害者の地域における自立促進と精神障害者に対する正しい理解、認識を深めていただく啓発活動を行う。 ・啓発事業として、講演会などを行う。また、自殺者が京都市において毎年約300人である現実を踏まえ、大切な命を守る事業を行う。 	健康づくり推進課	こころのふれあいネットワーク	啓発事業として、下京区民生児童委員会の学習会を「こころの健康問題」をテーマに実施し、118名の参加が得られた。こころのふれあいネットワークの地域の構成団体役員による、下京区内の障害者施設見学を実施した。自殺対策として区役所にてパネル展示を実施した。
	⑤子ども家庭支援ネットワークの充実・強化【再掲】	下京たんぼっぼ広場の開催や孤立化しやすい子育て家庭を定期的に訪問する「すくすく訪問プロジェクト（仮称）」など、子ども家庭支援ネットワーク協議会等子育てを支援する関係機関が実施する事業を充実させ、連携を強化する。	支援課 健康づくり推進課	—	—

	⑥権利擁護等高齢者福祉ネットワークの充実・強化【再掲】	権利擁護ネットワーク（仮称）の設立等，地域包括支援センターを核とした高齢者福祉ネットワークの連携を強化する。	支援課，健康づくり推進課	—	—
(7) 来庁される区民の皆様（お客様）に満足いただける，より快適なサービスを提供します	①市民対応の向上に向けた取組の充実・強化	各種の研修に積極的に参加することで，対応力の向上に努める。	各課共通	—	—
	②区役所庁内プロジェクトチームの取組の充実（訪れやすい庁舎部会，分かりやすい掲示部会，市民対応向上部会）	「訪れやすい庁舎部会」，「分かりやすい掲示部会」，「市民対応向上部会」が部会単位で活動を行い，改善のための提案を行う。	地域力推進室	庁内プロジェクトチーム（訪れやすい庁舎部会，分かりやすい掲示部会，市民対応向上部会）の活用	「訪れやすい庁舎部会」においては，階段を使おうキャンペーン，庁舎1階エレベーターホールの改善を実施した。 「分かりやすい庁舎部会」においては，窓口印象向上のための確認活動を行い，「下京区総合庁舎掲示物ガイドライン」を策定した。 「市民対応向上部会」においては，市民対応向上のためのポスターの作成，セルフチェックシートの実施・集計・分析・活用，皆様の声の見える化，市民対応向上のためのニュースレターの作成を行った。 以上のことを協議するため，計18回の部会を開催した。 その結果，区役所として10月24日から28日の5日間に実施した来庁者窓口アンケートにおいて，4.05点（5点満点中，昨年度比0.04点アップ）の結果を得た。

(8) 行政サービスの財源となる市税や保険料を皆様から公平かつ確実にいただき、みんなで支える社会を築きます	①市税徴収率の向上	・平成23年度目標徴収率(97.9%)の達成 ・平成24年度目標徴収率(未定)の達成に向けた取組遂行	納税課	市税徴収率の向上	・平成22年徴収率は97.4%(目標に対して△0.2ポイント) ・平成23年度徴収率は1月末で79.4%(前年比△0.3ポイント)で推移
	②介護保険料の徴収率の向上	第5期京都市民長寿すこやかプランに沿って充実された介護保険制度の周知を通じて徴収率の向上を図る。	福祉介護課	介護保険料の徴収率の向上	12月末時点での徴収率は、64.86%で対前年0.83%となっている。出納閉鎖に向けて、対前年△1.88%と低迷している現年度分・普通徴収率の改善に向けて、滞納処分も含む公平かつ確実な保険料徴収の実現に努める。
	③国民健康保険、後期高齢者医療制度に係る保険料徴収率の向上	前年度実績を上回る徴収率の達成を目指す	保険年金課	国民健康保険、後期高齢者(長寿)医療制度に係る保険料徴収率の向上	・国民健康保険の12月末における徴収率は61.73%、対前年比0.89ポイントの上昇となっている。 ・後期高齢者医療制度の12月末における徴収率は67.26%、対前年比0.47ポイントの上昇となっている。 ・3月及び4月に実施予定の夜間、休日の徴収取組を含め、更なる徴収率の向上に努めていく。
	④保育料の徴収率の向上	平成23年度実績を上回る徴収率の達成を目指す。	支援課	—	—